

府中西 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1・3組：木須史彦）（2・4・6組：平原敬大）（5・7・8組：福井妙子）

使用教科書：（三省堂「論理国語」、よむナビ現代文2、プレミアムカラー国語便覧、辞書アプリ「DONGRI」）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】日常生活に必要な国語において、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり言葉がもつ価値への認識を深めようとする態度や、読書に親しみ自己を向上させ我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
<p>論理力と思考力（野矢茂樹）</p> <p>○思考力と対比して、論理力とは何かを考える。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりする。</li> </ul>	<p>・「論理力とは、……にほかならない。」とはどういうことか、筆者の考えを整理する。</p> <p>・次の①②の推論は正しいか正しくないか、根拠と結論のつながりに着目して判定する。</p> <p>①彼は愛想が悪い。だから、営業に向かない。</p> <p>②自己管理ができていない人は風邪を引く。逆にいえば、風邪を引くやつは自己管理ができていない。</p> <p>・次の①②の伝わり方の違いを説明する。</p> <p>①Aさんは仕事が早い。しかし、ミスもする。</p> <p>②Aさんは仕事が早い。ただし、ミスもする。</p> <p>・「論理力」と「思考力」の関係はどのようなものか、話し合う。</p>	○			<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	2
<p>納得の構造（渡辺雅子）</p> <p>○論理の組み立てと文章構成の関係について理解する。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりする。</li> </ul>	<p>・「普段私たちが物事を……いるわけではない。」とはどういうことか、まとめる。</p> <p>・「日本とアメリカの……比べてみよう。」とあるが、両者の「作文構造」についてそれぞれまとめる。</p> <p>・「日本の起承転結とアメリカのエッセイの顕著な違い」について、筆者の考えをまとめる。</p> <p>・「『演繹的』作文」と「『帰納的』作文」とでは、読み手の受け止め方にどのような違いがあるか、話し合う。</p> <p>・実際に「『演繹的』作文」と「『帰納的』作文」を書いてみる。</p>	○	○		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	3

<p>情報の「メタ」化 (外山滋比古)</p> <p>○情報の「メタ化」を理解し、思考を整理する方法を考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりする。</p>	<p>・「同じ新聞でも、……第二次情報である。」とあるが、「第一次情報を第二次情報に変える方法」の具体例を本文からあげ、整理する。</p> <p>・「我々が自分で考えた事柄……が考えられる。」とあるが、「段階的抽象化」を進める具体例を本文からあげ、整理する。</p> <p>・筆者の考える「思考の整理」とはどのようなものか、本文全体をとおしてまとめる。</p> <p>・新聞記事の情報を素材（第一次情報）として取りあげ、より高次の情報（第二次、第三次情報）に整理する。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉えて要旨を把握し、文章の内容について説明したり話し合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>学びを広げる 中身当てクイズ</p> <p>コラム 「流れ」と「構え」</p> <p>○情報から導いた答えを論理的に説明してみる。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉え、筋道を立てて説明する。</p>	<p>・「中身当てクイズ」を解いてみる。</p> <p>・手をあげたカップは、どのような情報をもとに答えを導き出したのか、筋道を立てて説明する。</p>	○	<p><b>【知識及び技能】</b> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで情報と情報との関係について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開を的確に捉え、筋道を立てて説明しようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>				○	○		1

1 学 期	<p>ぬくみ（鷺田清一）</p> <p>○都市生活における自己と他者の関係について考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりする。</p>	<p>・近代の都市生活が寂しいものである理由を整理する。</p> <p>・「個人はその神経を……社会になっていった。」とあるが、どういうことが説明する。</p> <p>・「現代の都市生活者……疼きと痛んで現象している」とは、どういうことが説明する。</p> <p>・「こうした他者との遮断の認識」とあるが、どういうことが説明する。</p> <p>・「現代生活」における「相互性」、「他者への想像力」の大切さについて具体例を基に話し合う。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとしている。</p>	○	○	○	3
	<p>ネット上の発言の劣化について（内田樹）</p> <p>○情報の階層化が進むなかで「言論の自由」の意味について考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとする。</p>	<p>・「それだけ言論統制が……整っていたとも言える。」とあるが、どういうことが説明する。</p> <p>・「マス言論というのは、……メタ情報』である。」とはどういうことが、筆者の考えをまとめる。</p> <p>・「情報の階層化」とはどういうことが、筆者の考えをまとめる。</p> <p>・「『情報』はその自体的な……意味がある。」とは、どういうことが説明する。</p> <p>・「『言論の自由』という原理』について、筆者の考えを説明する。</p> <p>・「『言論の自由』に対する侵害」として筆者が指摘することについて話し合う。</p> <p>・前項の話し合いをふまえ「今のネット上の発言に見る一般的傾向」について考えたことを600字程度にまとめる。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとしている。</p>	○	○	○	2
	<p>マルジャーナの知恵（岩井克人）</p> <p>○「情報の商品化」という資本主義の現象を理解する。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとする。</p>	<p>・「マルジャーナの知恵」とはどのようなものか、まとめる。</p> <p>・「差異から利潤を創り出す」とは、どのようなことか、次の項目ごとに整理する。 ①商業資本主義 ②産業資本主義</p> <p>・「高度情報社会、……と呼ばれる事態」とは、どのようなものが説明する。</p> <p>・「情報の商品化」には、どのようなものがあるか、身の回りから具体例をあげ話し合う。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、複数の文章や資料を基に自分の考えを広げ、論述したり討論したりしようとしている。</p>	○	○	○	2

<p>学びを広げる 情報社会について考える コラム 遅いインターネット</p> <p>○情報社会を生きるうえで大切なことは何か、考えたことを発表する。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで主張とその前提との関係について理解を深め、学習課題に沿って、必要な情報を関係付けて自分の考えを深め、発表する。</p>	<p>・本単元で学んだことをふまえ、「情報社会」を生きるうえで大切なことは何かについて、考えたことを発表する。</p>	○	○	<p><b>【知識及び技能】</b> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで主張とその前提との関係について理解を深め、学習課題に沿って、必要な情報を関係付けて自分の考えを深め、発表しようとしている。</p>	○	○	○	1
<p>世代間倫理としての環境倫理学（加藤尚武）</p> <p>○未来世代への責任という観点から環境問題を考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力】</b> ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表する。</p>	<p>・「近代的な決定システム……しつづつある。」とは、どのようなことを言っているか説明する。</p> <p>・「現代は進歩が……時代なのである。」とは、どのようなことを言っているか説明する。</p> <p>・「進歩が退廃である時代に生きている。」とは、どのようなことを言っているか説明する。</p> <p>・筆者は、なにか「現在世界の最も中心的な課題である。」と論じているのか、まとめる。</p> <p>・未来世代への責任を果たすため環境問題に取り組んでいる身の回りの例を調べ、発表する。</p>	○	○	<p><b>【知識及び技能】</b> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力】</b> ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や構成を的確に捉え、調べた成果を発表しようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>					○	○		1

<p>記号を使う動物（池上嘉彦）</p> <p>○記号としての言語について理解する。</p> <p>【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。</p> <p>【思考力、表現力、判断力等】 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、関連する文章の書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深め、比較して論じる。</p>	<p>・「既成の語形と……ずらしてみよう。」とはどういうことか、「焰のつらら」という比喩を使って説明する。</p> <p>・「人間の記号による営み」にはどのような面があるか、本文中の「ブーボー」と「マンマ」の例をもとに説明する。</p> <p>・「一つの言語を……ことでもある」とはどういうことか、日本語のほか英語などの例をあげて説明する。</p> <p>・「人間は確かに……なのである。」とはどういうことか、文章全体をとおして説明する。</p> <p>・身近にある「言語創造」の例を、詩、小説、歌詞などから探して発表する。</p>	○	○	○	○	3
<p>言葉がつくる女と男</p> <p>○言葉とアイデンティティの関係について考える。</p> <p>【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。</p> <p>【思考力、表現力、判断力等】 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、文章を多面的・多角的な視点から評価し、複数の文章を比較して論じる。</p>	<p>・「言葉とアイデンティティの関係」において、次の考え方をそれぞれ説明する。 ①本質主義 ②構築主義</p> <p>・「実は『女言葉』や……言語資源なのである。」と筆者が述べている理由を説明する。</p> <p>・「服装や言葉がアイデンティティと結びつく」と筆者が述べている理由をまとめる。</p> <p>・漫画、アニメ、小説、記事、ドラマ、映画などから「集団のカテゴリ」と結びついた言葉遣いの情報」の例をあげ、話し合う。</p>	○	○	○	○	3
<p>学びを広げる 言葉の力について考える コラム ツイッター哲学</p> <p>○読み比べをとおして「創造性」という観点から言葉の力について論じる。</p> <p>【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。</p> <p>【思考力、表現力、判断力等】 ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、文章を多面的・多角的な視点から評価し、複数の文章を比較して論じる。</p>	<p>・本単元の教材を読み比べ、それぞれの文章が「言葉の創造的な側面」をどのように論じているか500字程度でまとめる。</p>	○	○	○	○	2
<p>定期考査</p>				○	○	1

2 学 期	<p>病と科学（柳澤桂子）</p> <p>○「痛み」に着目して医療や化学の限界について考える。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気をめぐる「科学信仰」について整理する。</li> <li>・「科学が万能であるかのような錯覚に陥る」理由をまとめる。</li> <li>・「病人から苦しみを……奪われていく」理由をまとめる。</li> <li>・人間は科学とどのように向き合うべきか、筆者の考えをまとめる。</li> <li>・倫理的問題をはらんでいる科学技術について具体例を調べ話し合う。</li> </ul>		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	3
	<p>動的平衡（福岡伸一）</p> <p>○生命とは「動的平衡」のシステムであるという考え方を理解する。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生命とは何か。」に対するさまざまな回答を、次の観点から整理する。 ①生命への機械論的理解 ②二十世紀的な見方 ③シェーンハイマーの動的平衡論</li> <li>・シェーンハイマーの研究成果を本文に即してまとめる。</li> <li>・「サスティナブルであること」を筆者はどのように捉えているかまとめる。</li> <li>・筆者がシェーンハイマーの業績を「コペルニクス的転回」「二十世紀最大の科学的発見」と述べる理由をまとめる。</li> <li>・筆者は科学・技術とどのように向き合うべきだと考えているかまとめる。</li> <li>・バイオテクノロジーの「現在」について、どのようなものがあるか調べ発表する。</li> </ul>		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	3
	<p>ゲノム編集とiPS細胞（山中伸弥）</p> <p>○生命科学の可能性と課題について考える。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習課題に沿って、文章を多面的・多角的な視点から評価し、複数の文章を比較して論じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲノム編集技術はどのような点で画期的なのか説明する。</li> <li>・「医学研究の進展……扱う必要がある」のはなぜか、筆者の考えをまとめる。</li> <li>・ゲノム編集の「臨床応用」の具体例についてまとめる。</li> <li>・科学技術とどのように向き合うべきか、筆者の考えをもとに話し合う。</li> <li>・「ゲノム編集」や「iPS細胞」についてどのような議論がされているのか調べる。</li> </ul>		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら主張を支える適切な根拠をそろえ、調べたことを整理して論述しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	3

<p>学びを広げる 生命について考える</p> <p>資料 iPS細胞と生命倫理 コラム 倫理の窓から見たiPS細胞</p> <p>○さまざまな観点から生命について調べ、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使う。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の考えを論述する。</p>	<p>・本単元で学んだこと、調べたことを整理し、資料を読んで、生命科学や生命倫理について自分の考えを800字程度にまとめる。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習課題に沿って、表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の考えを論述している。</p>	○	○	○	1
<p>定期考査</p>				○	○		1

<p>ミロのヴィーナス（清岡卓行）</p> <p>○ミロのヴィーナスの「魅力」について考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性】</b> ・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見通しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめる。</p>	<p>・この文章は三つの部分に分かれている。それぞれの要旨をまとめ、小見出しを付ける。</p> <p>・次の表現について、それぞれわかりやすく説明する。 ①「部分的な具象の放棄による、ある全体性への偶然の肉薄」 ②「表現における量の変化ではなく、質の変化である」 ③「手というものの、人間存在における象徴的な意味」</p> <p>・「ほかならぬ……奏であるのである。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>・次の表現の工夫とその効果について説明する。 ①「そのとき彼女は、その両腕を、……秘密の場所にうまく忘れてきたのであった。」 ②「その雰囲気一度でも引きずり込まれたことがある人間は、……どんなにみごとな二本の腕であるとしても。」 ③「一方にあるのは、おびただし夢をはらんでいる無であり、もう一方にあるのは、……なんらかの有である。」</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性】</b> ・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見通しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>空白の意味（原研哉）</p> <p>○芸術作品における「空白」の意味について考える。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性】</b> ・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見通しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。</p>	<p>・「『空白』あるいは……結びついている。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。</p> <p>・「逆説的な……育んできた。」とはどういうことか、筆者の考えを説明する。</p> <p>・筆者が長谷川等伯の「松林図」をもとに論じていることを、次の五つの語句を必ず用いて200字以内でまとめる。 ・空白 ・イメージーション ・逆説 ・美意識 ・コミュニケーション</p> <p>・筆者のいう日本の美意識についてどう考えるか、具体例をあげ600字以内で論じる。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性】</b> ・進んで主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、学習の見通しをもって、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直し、考察した内容をまとめようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>「なぜ」に答えられない科学（池内了）</p> <p>○科学の知とはどのようなものかを理解する。</p> <p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述する。</p>	<p>・「現在の自然科学の……することにある。」とあるが、どういうことかニュートンの例を用いて説明する。</p> <p>・「神の存在と……なかったのだ。」とあるが、その理由を説明する。</p> <p>・次の部分を筆者はどのようなものだと述べているか、それぞれ整理する。 ①「神はサイコロ遊びをしない」 ②「サイコロ遊びが好きな神を受け入れればよい」</p> <p>・「科学者が神を持ち出す」理由を、科学者と神の関係に注目し、具体例をあげて説明する。</p> <p>・科学の法則の「適用限界」が問題になるのはどのような場合か、具体例をあげて話し合う。</p>		<p><b>【知識及び技能】</b> ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p><b>【思考力、表現力、判断力等】</b> ・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。</p>	○	○	○	2

<p>AI時代の「人間」（堀内進之介）</p> <p>○AIとの対比から「人間」についての理解を深める。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『「人間とは何か」という……大きく変化してきた。』とは、どのようなことかまとめる。</li> <li>・『「人間にできて……なっていないはずだ。』とあるが、その理由をまとめる。</li> <li>・「ロボットやAIに反射される人間」とは、どのようなものか整理する。</li> <li>・「人間は一種の……獲得してきた。」とはどのようなことか、筆者のあげている例を整理する。</li> <li>・「私たちは世界に開かれていなければならない。」とはどういうことか、筆者の考えをまとめる。</li> <li>・「開かれた世界で、……扉を開くのだ。」という筆者の考えについてどのように思うか、600字程度にまとめる。</li> </ul>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	2
<p>「市民」のイメージ（日野啓三）</p> <p>○アメリカの陪審制度の事例をもとに「市民」の意味について考える。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者がテレビで見たアメリカの陪審制度はどういうものか整理する。</li> <li>・「普通の人間が『市民』に変貌する」とはどういうことかまとめる。</li> <li>・筆者の考える「市民社会」とはどういうものか説明する。</li> <li>・「我々は『市民』に……『市民』になるのだ。」ということとは、現代社会においてどのような意味をもつのか話し合う。</li> </ul>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	2
<p>「である」ことと「する」こと（丸山真男）</p> <p>○「市民社会」における権利と義務について考える。</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節ごとに要点をまとめる。</li> <li>・次の部分はどのようなことを言っているか、簡潔に説明する。 ①アームチェアから……気性の持ち主 ②ある面では……過近代的でもある ③「である」社会のモラルによってセメント化されてきた ④芸術や教養は「果実よりは花」 ⑤政治には……価値などというものはない ⑥ラディカル（根底的）な……結びつくこと</li> <li>・「である」論理・「する」論理とはどういうものか、対になっている例を本文から抜き出し、それぞれ説明する。</li> <li>・身近な問題を取りあげ、「である」論理と「する」論理の観点から、800字程度の文章を書く。</li> </ul>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、判断力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習課題に沿って、資料との関係を把握して内容や構成を的確に捉え、自分の考えを論述したり討論したりしようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	3
定期考査				○ ○	1

合計  
57



<p>詩はいつでも近いところにある</p> <p>●詩の言葉の特徴を理解する</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「言葉は、定められてしまうことから逃れようとしながら、それでも場所を得て、他の言葉を支えたり、あるいは飛び越したり、裏切ったりする」(16・8) とあるが、どういうことだろうか。説明する。</p> <p>2 「そのようにして、言葉と出会うことができる」(17・5) とは、どうということだろうか。「詩」の言葉についての筆者の考えをもとに説明する。</p> <p>3 「詩はいつでも近いところにあるのだ」(18・11) とは、どうということか。今までに読んだことのある詩を取りあげて、話し合う。</p>	<p>○</p>	<p>&lt;知・技&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。(1)ウ)</li> <li>・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(3)ア)</li> </ul> <p>&lt;思・判・表&gt;</p> <p>①語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、解釈している。(読イ)</p> <p>②作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。(読カ)</p> <p>&lt;主&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。</li> </ul>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>
<p>少年という名前のメカ</p> <p>●小説の寓意について考える。</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「今までの少年たちとはちょっと違うよ」(37・14) とあるが、老夫婦の「今までの少年たち」に対する思いをまとめる。</p> <p>2 「少年は細心の注意を払い、すべてを適度なバランスに保った」(38・8) とあるが、老夫婦との共同生活の中で少年はどのようにふるまったのか。整理する。</p> <p>3 「少年らしくない少年がいることがわかったわ」(41・3) とあるが、少女のいう「少年らしくない少年」とはどのようなものか。整理する。</p> <p>4 この小説のおもしろさはどこにあるか。「今日も少年は歩く……特許出願中」(41・12～13)の部分に留意して話し合う。</p> <p>5 「あなたのおかげで、少年らしくない少年がいることがわかったわ」(41・3) とあるが、「らしさ」とは何だろうか。具体例を挙げて話し合う。</p>	<p>○</p>	<p>&lt;知・技&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。(1)ウ)</li> <li>・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(3)ア)</li> </ul> <p>&lt;思・判・表&gt;</p> <p>①語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、解釈している。(読イ)</p> <p>②作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。(読カ)</p> <p>&lt;主&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して解釈しようとしている。</li> </ul>	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>
<p>学びを広げる 小説の書き換え</p> <p>●主人公の設定を変え、小説を書き換える。</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「少年という名前のメカ」の主人公の設定を変え、もう一つの「○○という名前のメカ」の物語を作る。</p> <p>①「少年という名前のメカ」の冒頭部分(35・1)にならって次の文の空欄を埋め、主人公の基本的な設定を決定しよう。</p> <p>○○という名前のメカの記憶装置には、( )がはじめからインプットされている。だから○○は( )。</p> <p>②主人公の設定をもとに、主人公にふさわしい物語の構想を練ろう。その際、次の点に留意しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公は、いつ、どこで、どのような人物に出会うか。</li> <li>・そこでどのようなできごとに出会い、どのような会話が交わされるか。</li> <li>・主人公はどのように行動し、その行動を周囲の人々はどのように受け止めるか。</li> <li>・主人公はどのように人々と別れるか。</li> </ul> <p>③五、六人のグループに分かれ、それぞれの「作品」を発表し合い、感想を交換しよう。</p> <p>④感想交換を受けて、改めて自分の書いた「作品」を振り返り、創作活動を自己評価しよう。</p> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>○</p>	<p>&lt;知・技&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。(1)エ)</li> </ul> <p>&lt;思・判・表&gt;</p> <p>①読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。(書イ)</p> <p>&lt;主&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について体系的に理解し、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫しようとしている。</li> </ul> <p>◆言語活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して書き換え、その際に工夫したことなどを話し合ったり、文章にまとめたりする活動。(書イ)</li> </ul>	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>
<p>定期考査</p>					<p>1</p>

<p>今日</p> <p>わたしを束ねないで</p> <p>帰途</p> <p>●表現形式や修辞の効果に着目し、それぞれの詩の理解を深める</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>[今日]</p> <p>1この詩の展開について、次の言葉に着目して説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふたたび」／「ただ」／「ばかり」／「だけ」／「まで」</li> </ul> <p>2 第三連「生きることそれが烈しく今日である」には、どのような思いが込められているか、説明する。</p> <p>3 第四連「今日を愛すること／ひとつの短かい歌が死に／今日が小さな喪に捧げられるまで」とはどういうことだろうか、話し合う。</p> <p>[わたしを束ねないで]</p> <p>1「わたし」は各連でそれぞれのどのようなものととえられているか。また、それらからどのような意味やイメージを受け取ることができるか。まとめる。</p> <p>2「束ねないで」「止めないで」「注がないで」「名付けないで」「区切らないで」という表現には、それぞれのどのような思いが込められているか、話し合う。</p> <p>[帰途]</p> <p>1「言葉のない世界」とはどのようなものか、次の詩句に着目して説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたが美しい言葉に復讐されても／そいつはぼくとは無関係だ</li> </ul> <p>2 次の詩句からどのような意味やイメージを受け取ることができるか、まとめる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①沈黙の舌からおちてくる痛苦</li> <li>②果実の核ほどの意味</li> <li>③この世界の夕暮れの／ふるえるような夕焼けのひびき</li> </ol> <p>3「言葉なんかおぼえるんじゃないかった」という詩句に込められた「ぼく」の思いについて、最後の二行に着目して話し合う。</p> <p>[各教材]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの詩のリズム・言葉の響き・内容に注意して読み方を工夫し、朗読する。</li> <li>・印象に残った詩を一編選んで、四〇〇字程度で感想を書く。</li> </ul> <p>◆学習目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>○</p>	<p>&lt;知・技&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。(1)ウ)</li> <li>・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(3)ア)</li> <li>・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。(3)イ)</li> </ul> <p>&lt;思・判・表&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。(読ア)</li> <li>②他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。(読ウ)</li> </ol> <p>&lt;主&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで文学的な文章を読むことを通して我が国の言語文化の特質について理解を深め、他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察しようとしている。</li> </ul>	<p>○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>定期考査</p>					<p>1</p>

<p>2 学 期</p>	<p>ひよこの眼</p> <p>●回想形式に留意して、小説の内容を理解する</p> <p>ありときりぎりす 〔参考〕セミとアリ</p> <p>●翻案小説の魅力について考える</p>	<p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「私」と「幹生」の関係はどのように変化していくか、次の二点からまとめる。</p> <p>①「私」の「幹生」への気持ち ②「幹生」の「私」への態度</p> <p>2 「私が、幹生の瞳に出会った時、私の記憶を疼かせたのは、あのひよこの目だったのだ」(78上・14)とあるが、どういうことか。説明する。</p> <p>3 「でも、私に、いったい、何がしあげられるのだろう。ひよこは、とうの昔に死んでしまったのだ」(79上・5)とあるが、この時「私」を捉えていたのはどのような感情か、説明する。</p> <p>4 「ひよこの眼」とは何か、話し合う。</p> <p>5 「ひよこの眼」は、現在の「私」が過去の「私」を振り返って語る回想形式の小説であるが、回想といっても、物語内のすべてのできごとが「過去を振り返る」という形で語られているわけではない。どのような語り方がなされているかを調べ、その効果について話し合う。</p> <p>◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「ありときりぎりす」と「セミとアリ」を読み比べ、物語の形式(語り手、人称や視点、登場人物とその呼称)、ストーリー展開、描写のあり方について、その共通点と相違点を整理する。</p> <p>2 「ありときりぎりす」について、「セミとアリ」を参考にしながら、次の①から③の課題に取り組む。</p> <p>①この物語では、「おれ」が語り手として設定されている。そのことはどんな効果を生んでいるか。</p> <p>②この物語では、語り手はきりぎりすのことを「あの男」「その男」「男」と呼んでいる。そのことにどのような意味があるか。</p> <p>③この物語の心理や情景の描写のすぐれたところはどこか。また、それはどのような点ですぐれているか。</p> <p>3 「ありときりぎりす」のおもしろさはどこにあるのか、話し合う。</p>	<p>○</p>	<p>&lt;知・技&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。(1)ア)</li> <li>・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。(3)ア)</li> </ul> <p>&lt;思・判・表&gt;</p> <p>①文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。(読ア)</p> <p>②文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。(読エ)</p> <p>&lt;主&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ解釈の多様性について考察しようとしている。</li> </ul>	<p>○ ○ ○</p>	<p>8</p>
	<p>定期考査</p>					<p>1</p>



# 府中西高等学校令和3年度 教科 日本語 科目 日本語 I 年間授業計画

教科：日本語 科目：日本語 I 単位数：2単位

対象学年組：第2学年1組～4組

教科担当者：(1組：三好) (2組：三好) (3組：三好) (4組：三好)

使用教科書：(教員作成プリント)

使用教材：(①PRACTICAL KANJI 現代社会を読む 700 漢字 Vol.1 ②短期集中 中級日本語文法 総まとめポイント20)

	指導内容	日本語 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	「日本に住む外国人の子どもたち」	・「日本に住む外国人の子どもたち」に関する新聞記事から日本語能力不足がもたらす問題について理解し、自分の考えを書くことができる。	・「定義を表す表現」を用いて文章を書けているかどうか ・文章中に出てくる数字などから、書かれていないことを推測しながら読み取れているかどうか ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文	4
5月	「日本に住む外国人の子どもたち」  中間考査	・「日本に住む外国人の子どもたち」に関する新聞記事からある青年がいかに進路を切り開いたかを知り、自分の考えを書くことができる。	・読み取った内容を時系列に沿って文章を書けているかどうか ・「概要」→「詳細」という構造を理解して文章を読み取れているかどうか  ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文	6  1
6月	「難民とジェンダー」	・「難民とジェンダー」に関して、国の法制度によって許可された難民に関する新聞記事を読んで、国を超えて生活することについて自分の考えを書ける。  ・「難民とジェンダー」に関して、難民女性に関する新聞記事を読んで、女性が自分の能力を発揮できる環境づくりについて自分の考えを書くことができる。	・「対比を表す表現」を用いて文章を書けているかどうか ・「あるインドネシア人男性の難民申請に許可が出された背景」にある2つの国の法律や文化の違いが正確に読み取れているかどうか ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文  ・「提案を表す表現」を用い「具体的な対策」を示した文章を書けているかどうか ・「当事者の課題」と「現状の制度」の差異を正しく読み取れているかどうか  ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文	4  5
7月	期末考査 「難民とジェンダー」	・「難民とジェンダー」の学習を通して得た自分の考えを文章にまとめることができる。	・「提案を表す表現」を用い「具体的な対策」を示した文章を書けているかどうか ・「当事者の課題」と「現状の制度」の差異を正しく読み取れているかどうか ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み	1 4
9月	「ダークツーリズムと世界遺産」	・「ダークツーリズムと世界遺産」について、「世界遺産の概要」を説明した文章を要約して説明することができる。	・要点を簡潔にまとめて文章を書けているかどうか ・世界遺産の10の要件が正確に読み取れているかどうか ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文	6
10月	「未成年者の飲酒禁止」  「ダークツーリズムと世界遺産」  中間考査	・「ダークツーリズムと世界遺産」について、「ダークツーリズムの概要」を説明した文章を要約して説明することができる。  ・出身国にある「ダークツーリズム」と「世界遺産」の要件を兼ねそろえた名所を紹介できる。	・根拠を明確に示した文章を書けているかどうか ・ダークツーリズムの要件が正確に読み取れているかどうか ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文  ・選択した場所がなぜ要件を満たしているのか明確にして文書を書くことができる。  ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文	6   1

11月	「原子力発電と日本」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「原子力発電と日本」に関して、東日本大震災に関する資料や新聞記事などを読み、どのような問題があるかを知り、自分の意見を書くことができる</li> <li>・「原子力発電と日本」に関して、原子力発電が推進された経緯を理解し、今後のエネルギー供給について、根拠をもとに展望を語るることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「可能性を表す表現」を用い「原子力発電所で起きた事件とそれに対する社会の反応」をまとめて文章を書けているかどうか</li> <li>・「事実」と「意見・解釈」を峻別して読み取れているかどうか</li> <li>・授業での応答</li> <li>・ワークシートへの取り組み</li> <li>・作文</li> <li>・「逆説を表す表現」を用い「原子力発電の利点」を示した文章を書けているかどうか</li> <li>・「今後のエネルギー供給についての現在の取り組み」について様々な観点から賛否の意見を持つことが出来ているかどうか。</li> <li>・授業での応答</li> <li>・ワークシートへの取り組み</li> <li>・作文</li> </ul>	5
12月	「原子力発電と日本」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「原子力発電と日本」に関して、原子力発電が推進された経緯を理解し、今後のエネルギー供給について、根拠をもとに展望を語るることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「逆説を表す表現」を用い「原子力発電の利点」を示した文章を書けているかどうか</li> <li>・「今後のエネルギー供給についての現在の取り組み」について様々な観点から賛否の意見を持つことが出来ているかどうか。</li> <li>・授業での応答</li> <li>・ワークシートへの取り組み</li> <li>・作文</li> </ul>	5
	期末考査 「原子力発電と日本」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「原子力発電と日本」に関して、原子力発電が推進された経緯を理解し、今後のエネルギー供給について、根拠をもとに展望を語るることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「逆説を表す表現」を用い「原子力発電の利点」を示した文章を書けているかどうか</li> <li>・「今後のエネルギー供給についての現在の取り組み」について様々な観点から賛否の意見を持つことが出来ているかどうか。</li> <li>・授業での応答</li> <li>・ワークシートへの取り組み</li> <li>・作文</li> </ul>	1 2
1月	「ディーセントワーク」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ディーセントワーク」に関して、「ヤングケアラー」の視点から、置かれた状況で最善の選択をするキャリア発達について自分の考えを書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「原因理由を表す表現」を用い「年号の由来」を示した文章を書けているかどうか</li> <li>・適切な方法で必要十分な情報を集められているかどうか。</li> <li>・授業での応答</li> <li>・ワークシートへの取り組み</li> </ul>	3
2月	「ディーセントワーク」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ディーセントワーク」に関して、グローバル化の進展に伴い、世界的な経済格差の増大について、出身国との比較を通して自分の考えを書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「推測を表す表現」を用い、違いを明確に示した文章を書けているかどうか</li> <li>・適切な方法で必要十分な情報を集められているかどうか。</li> <li>・授業での応答</li> <li>・ワークシートへの取り組み</li> </ul>	6
3月	「ディーセントワーク」 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ディーセントワーク」に関して、グローバル化の進展に伴い、世界的な経済格差の増大について、出身国との比較を通して自分の考えを書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な情報に基づいて、違いを明確に示した文章を書けているかどうか</li> <li>・適切な方法で必要十分な情報を集められているかどうか。</li> <li>・授業での応答</li> <li>・ワークシートへの取り組み</li> <li>・作文</li> </ul>	5

府中西高等学校令和3年度 教科 日本語 科目 日本語Ⅱ 年間授業計画

教科 科：日本語 科目：日本語Ⅰ 単位数：2単位

対象学年組：第2学年1組～4組

教科担当者：(1組：三好) (2組：三好) (3組：三好) (4組：三好)

使用教科書：(教員作成プリント)

使用教材：(①大学・大学院 留学生の日本語 (5) 漢字・語彙編 ②短期集中 中級日本語文法 総まとめポイント20)

	指導内容	日本語Ⅰの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	読解・作文「プラスチックごみ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「プラスチックごみ」に関する新聞記事からマイクロプラスチックがもたらす生態系への影響について理解し、自分なりに考えた対策を論理的に述べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題点を踏まえた合理的で現実的な提案を明確な文章構成で書けているかどうか</li> <li>「現状」と「課題」を把握し、問題点を指摘したうえで、自身の考えを持つことができているかどうか。</li> <li>授業の応答</li> <li>ワークシートへの取り組み</li> <li>作文</li> </ul>	4
	口頭表現「語学力について話そう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身の言語能力および言語学習経験を述べ、その経験から学んだことを伝えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>談話の要点を冒頭に明示するなど理解が容易になる工夫が出来ているかどうか。</li> <li>言語能力に関する事実と考えを分けて</li> <li>授業の応答</li> <li>原稿の作文</li> <li>口頭でのやり取り</li> </ul>	4
5月	読解・作文「プラスチックごみ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「プラスチックごみ」に関する新聞記事からマイクロプラスチックがもたらす生態系への影響について理解し、自分なりに考えた対策を論理的に述べることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題点を踏まえた合理的で現実的な提案を明確な文章構成で書けているかどうか</li> <li>「現状」と「課題」を把握し、問題点を指摘したうえで、自身の考えを持つことができているかどうか。</li> <li>授業の応答</li> <li>ワークシートへの取り組み</li> <li>作文</li> </ul>	3
	口頭表現「学力について話そう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>得意科目と不得意な科目についてので、なぜ得意な科目に興味を持ったのか、不得意な科目を克服するためにどんな努力をしたか説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>談話の要点を冒頭に明示するなど理解が容易になる工夫が出来ているかどうか。</li> <li>言語能力に関する事実と考えを分けて説明できているかどうか。</li> <li>授業の応答</li> <li>原稿の作文</li> <li>口頭でのやり取り</li> </ul>	3
	中間考査			1
6月	読解・作文「デジタル化する社会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「デジタル化する社会」に関して、コロナ禍がありデジタルデバイスへの依存度は世代を超えて加速度的に高まったが使いこなすどころか、依存が社会問題となっている。いかにデバイスが人間を依存させようとしているかを知り、自分なりの向き合い方を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の趣旨を正確に要約し、要点を指摘して文章を書けているかどうか</li> <li>デジタルデバイスがいかに人間を依存させるかを正確に読み取れているかどうか</li> <li>授業での応答</li> <li>ワークシートへの取り組み</li> <li>作文</li> </ul>	2
	口頭表現「将来の希望について話そう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「デジタル化する社会」に関して、デジタルデバイスの普及は情報の伝達速度を加速させ、生命を守る役割をする一方、「フェイクニュース」が拡散するなど正確さには欠ける。この実態を踏まえて、デジタル化する社会への向き合い方を論理的に述べる事が出来る。</li> <li>自分の人生の見通しを話すことが出来る。特に、進学希望者は進学先で学びたいことと関連付けて述べる事が出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「利点」と「欠点」をそれぞれ挙げたうえで、欠点を補う現実的で具体的な方策を述べている。</li> <li>「利点」と「欠点」の差異を正しく読み取れているかどうか</li> <li>授業での応答</li> <li>ワークシートへの取り組み</li> <li>作文</li> </ul>	2
	口頭表現「将来の希望について話そう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>談話の要点を冒頭に明示するなど理解が容易になる工夫が出来ているかどうか。</li> <li>言語能力に関する事実と考えを分けて説明できているかどうか。</li> <li>授業の応答</li> <li>原稿の作文</li> <li>口頭でのやり取り</li> </ul>	4
7月	期末考査			1
	読解・作文「デジタル化する社会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「デジタル化する社会」に関して、デジタルデバイスの普及は情報の伝達速度を加速させ、生命を守る役割をする一方、「フェイクニュース」が拡散するなど正確さには欠ける。この実態を踏まえて、デジタル化する社会への向き合い方を論理的に述べる事が出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「利点」と「欠点」をそれぞれ挙げたうえで、欠点を補う現実的で具体的な方策を述べている。</li> <li>「利点」と「欠点」の差異を正しく読み取れているかどうか</li> <li>授業での応答</li> <li>ワークシートへの取り組み</li> <li>作文</li> </ul>	2
	口頭表現「志望理由について話そう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学/就職先への志望理由を具体的かつ一貫性をもって述べる事が出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「理由」と選択に一貫性があることが明示的に述べられているかどうか。</li> <li>言語能力に関する事実と考えを分けて説明できているかどうか。</li> <li>授業の応答</li> <li>原稿の作文</li> <li>口頭でのやり取り</li> </ul>	2

	指導内容	日本語 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	読解・作文「格差社会」	・文章を読んで「絶対的貧困」と「相対的貧困」の違いを簡潔に説明する文章を書くことができる。	・要点を簡潔にまとめて文章を書けているかどうか ・2つの違いを読み取れているかどうか ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文	6
10月	「格差社会」  中間考査	・「日本における貧困の問題」に関する文章を読んで、出身国の「社会的格差」について説明する文章を書くことができる。  ・出身国にある「ダークツーリズム」と「世界遺産」の要件を兼ねそろえた名所を紹介できる。	・読解文を参考に根拠を明確に示した文章を書けているかどうか ・日本における貧困を引き起こす要因やそれに対する認識を正確に理解できる。 ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文  ・選択した場所がなぜ要件を満たしているのか明確にして文書を書くことが出来る。 ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文	6  1
11月	「VUCA」	・「VUCA」に関して、新型コロナウイルス感染症による社会の変化に関する文章を読み、これからの社会への展望を述べる事が出来る。  ・「VUCA」に関して、特に高等教育機関のオンライン化に伴って生じた歪に関する文章を読み、教育の方法や学ぶことの意義について自分の考えを述べる事が出来る。	・急激な変化に対して今後自分自身に求められる能力を見極め適切に表現して書くことが出来る。 ・「事実」と「意見・解釈」を峻別して読み取れているかどうか ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文  ・知りえた情報や自身の経験、見分などを統合して自分の考えを述べる事が出来る。 ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文	6
12月	期末考査 「原子力発電と日本」	・「VUCA」に関して、特に高等教育機関のオンライン化に伴って生じた歪に関する文章を読み、教育の方法や学ぶことの意義について自分の考えを述べる事が出来る。  ・「原子力発電と日本」に関して、原子力発電が推進された経緯を理解し、今後のエネルギー供給について、根拠をもとに展望を語る事が出来る。	・知りえた情報や自身の経験、見分などを統合して自分の考えを述べる事が出来る。 ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文  ・「逆説を表す表現」を用い「原子力発電の利点」を示した文章を書けているかどうか ・「今後のエネルギー供給についての現在の取り組み」について様々な観点から賛否の意見を持つ事が出来るかどうか。 ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文	6  1 2
1月	「卒業作文集作成」	3年間で学んだことを文章に書き表すことができる。	・適切な表現で3年間の学びや経験が書きあらわす事が出来ているかどうか ・授業での応答 ・ワークシートへの取り組み ・作文	4
2月				
3月				

府中西 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （ 1 組：寺田 ） （ 2 組：寺田 ） （ 3 組：寺田 ） （ 4 組：寺田 ）  
 （ 5 組：寺田 ） （ 6 組：寺田 ） （ 7 組：寺田 ） （ 8 組：寺田 ）

使用教科書： （ 帝国書院「新地理総合」 帝国書院「新詳高等地図」 帝国書院「新詳地理資料 COMPLETE」 ）

教科 地理歴史 の目標：

○社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。  
 ①現代社会の地域的特色と日本及び世界の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。  
 ②地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  
 ③地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【知識及び技能】 現代社会の地域的特色と日本及び世界の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。  
 ② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。  
 ③ 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めます。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 ○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などが深まっている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地球的課題と国際協力 <b>【知識及び技能】</b> ・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルマップ</li> <li>・人口問題・食糧問題・難民問題</li> <li>・教科書・地図帳・資料集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> ・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	5
	地図と地理情報システム <b>【知識及び技能】</b> ・世界地図と地球儀についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 ・日本の位置と領域、日本が抱える領土問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・国家と領域、日本の領土問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・日本の位置と領域に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界地図と日本地図</li> <li>・日本の位置と領域</li> <li>・教科書・地図帳・資料集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> ・世界地図と地球儀についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・日本の位置と領域、日本が抱える領土問題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・国家と領域、日本の領土問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・日本の位置と領域に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	地図の役割と種類 <b>【知識及び技能】</b> ・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理できる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界観</li> <li>・GIS</li> <li>・教科書・地図帳・資料集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> ・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・さまざまな地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	○	○	○	5
	地図の役割と種類 <b>【知識及び技能】</b> ・緯度や経度の基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・緯度や経度の違いが私たちの生活に与える影響について、緯度や経度の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・緯度や経度と、私たちの生活との関係に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緯度と経度</li> <li>・メルカトル図法</li> <li>・正距方位図法</li> <li>・標準時と時差</li> <li>・教科書・地図帳・資料集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<b>【知識及び技能】</b> ・緯度や経度の基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・緯度や経度の違いが私たちの生活に与える影響について、緯度や経度の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・緯度や経度と、私たちの生活との関係に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	7
	地図の役割と種類 <b>【知識及び技能】</b> ・地形図や地理院地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・地形図や地理院地図の特徴を、縮尺・地図記号・用途などに着目し、適切に整理している。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 地形図や地理院地図に関心をもち、それらを意欲的に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地形図</li> <li>・教科書・地図帳・資料集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<b>【知識・技能】</b> ・地形図や地理院地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> ・地形図や地理院地図の特徴を、縮尺・地図記号・用途などに着目し、適切に整理している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・地形図や地理院地図に関心をもち、それらを意欲的に活用している。	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1	

2 学 期	<p>世界の地形と人々の生活 日本の地形の特色 【知識及び技能】 ・自然災害や人々の生活との関係性についての基本的な事世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴柄を理解し、その知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴とそれが河川や海岸の特徴や人々の生活にもたらす影響について考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴と自然災害や人々の生活との関係性についての関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大地形</li> <li>・小地形</li> <li>・教科書・地図帳・資料集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・自然災害や人々の生活との関係性についての基本的な事世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴柄を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴とそれが河川や海岸の特徴や人々の生活にもたらす影響について考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界的な視点からみた日本列島の地形の特徴と自然災害や人々の生活との関係性についての関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
	<p>世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 ・地球上における気候の違いと、それによって生まれた異なる景観について、グラフ・地図や写真の読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・気温や降水量の違いが生じるメカニズムを、緯度ごとの太陽からうける熱量の違いや地球全体の大気の流れなどの要因から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・気温や降水量の違いが与える地域への影響や、生活様式や産業にもたらす変化について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候</li> <li>・教科書・地図帳・資料集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・地球上における気候の違いと、それによって生まれた異なる景観について、グラフ・地図や写真の読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・気温や降水量の違いが生じるメカニズムを、緯度ごとの太陽からうける熱量の違いや地球全体の大気の流れなどの要因から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・気温や降水量の違いが与える地域への影響や、生活様式や産業にもたらす変化について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>日本の自然環境 気象災害と防災 【知識及び技能】 ・変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。</p> <p>・多発している日本列島の自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>・日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>・深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然環境の特色</li> <li>・日本の自然災害と防災</li> <li>・教科書・地図帳・資料集</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・多発している日本列島の自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>・日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p> <p>・深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1	

3 学 期	<p>熱帯の生活</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付け。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯における人々の生活やその工夫と、気候に対応した農業について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アマゾンの暮らし</li> <li>・熱帯林の減少</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱帯における人々の生活やその工夫と、気候に対応した農業について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul>	○	○	○	5
	<p>乾燥帯の生活</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥帯における人々の生活やその工夫と、農業や水の確保について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サハラの子らし</li> <li>・砂漠化</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥帯における人々の生活やその工夫と、農業や水の確保について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul>	○	○	○	5
	<p>亜寒帯・寒帯の生活</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亜寒帯・寒帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亜寒帯・寒帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亜寒帯・寒帯における人々の生活・産業やその工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シベリアの暮らし</li> <li>・永久凍土の融解</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亜寒帯・寒帯や各気候区の気候の特徴について、雨温図や写真などの読み取りを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亜寒帯・寒帯の植生・土壌の特徴や各気候区の気候の違いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・亜寒帯・寒帯における人々の生活・産業やその工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul>	○	○	○	5
	<p>山地の生活</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山地に暮らす人々の生活について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山地での生活の工夫や独自の文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山地における伝統的な資源の利用と文化の形成、および現代社会における重要性について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンデスの暮らし</li> <li>・大気汚染</li> <li>・教材</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山地に暮らす人々の生活について、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山地での生活の工夫や独自の文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山地における伝統的な資源の利用と文化の形成、および現代社会における重要性について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul>	○	○	○	5
定期考査				○	○	○	1

合計
78

# 府中西高等学校 令和8年度 年間授業計画

教科：（地理歴史）科目：（世界史探究入門） 対象：（第2学年 1組～8組選択者） 単位数：2単位

教科担当者：安藤寛

使用教科書：新詳世界史探究（帝国書院）

使用教材：最新世界史図説タペストリー（帝国書院）

	指導内容	科目世界史探究入門の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	先史 アメリカ・アフリカの歴史的特質 諸地域の歴史的特質の形成 1 古代文明の歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進化・考古年代について知る。</li> <li>・アメリカやアフリカの古代文明について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	4
5月	2 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアの文化の特質について学び、秦漢における中央集権的専制国家の形成について、周辺地域への拡大とも関連づけて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	7
6月	2 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアの文化の特質について学び、秦漢における中央集権的専制国家の形成について、周辺地域への拡大とも関連づけて知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> </ul>	8
7月	3 南アジアと東南アジアの歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代インドと東南アジアについて知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	3
9月	3 南アジアと東南アジアの歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代インドと東南アジアについて知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	4
10月	4 西アジアと地中海周辺の歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエント文明では、大河の治水・灌漑農業の登場に伴い、神権政治が早くから発達したことを知る。</li> <li>・ポリス社会が古代地中海世界の基礎となる都市生活の原型となったことを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	9
11月	4 西アジアと地中海周辺の歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエント文明では、大河の治水・灌漑農業の登場に伴い、神権政治が早くから発達したことを知る。</li> <li>・ポリス社会が古代地中海世界の基礎となる都市生活の原型となったことを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> </ul>	6

12月	(期末考査)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> </ul>	
	4 西アジアと地中海周辺の歴史的特質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエント文明では、大河の治水・灌漑農業の登場に伴い、神権政治が早くから発達したことを知る。</li> <li>・ポリス社会が古代地中海世界の基礎となる都市生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、提出物等により、総合的に判断する。</li> </ul>	2
1月	5 ユーラシア大交流圏の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラーム世界の成り立ちとその変遷について学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> </ul>	2
2月	5 ユーラシア大交流圏の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラーム世界の成り立ちとその変遷について学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> </ul>	4
3月	(学年末考査) 6 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア諸地域に成立した巨大帝国の特質について知り、アジア域内の交流が活発化したことについて学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導内容の単元について関心を持ち、背景などを知る。</li> <li>・教科書や図録等の図版や地図を適切に利用して理解を深めようとする。</li> <li>・定期考査、提出物等により、総</li> </ul>	3

府中西 高等学校 令和8年度（ 2学年用） 教科 地歴 科目 日本史探究入門

教科： 地歴 科目： 日本史探究入門 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （ a：大塚 ） （ b：大塚 ） （ c：吉田 ）

使用教科書： （ 『詳説 日本史』 山川出版 ）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】歴史の変化に関わる諸事象について、相互的な視野から捉え、歴史を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解ができるようにする。

科目 日本史探究入門 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	<日本文化のあけぼの> ・日本列島における旧石器文化、縄文文化の時代の社会を理解する。 ・大陸からの稲作伝播、小国の形成される過程など、東アジア世界との関係を踏まえ考察する。	1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立	日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。水稻耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。	○	○	○	5
	<古墳とヤマト政権> ・地域の首長の出現から統一国家に至る過程を古墳の変容から考察する。 ・飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。	1. 古墳文化の展開 2. 飛鳥の朝廷	国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解している。	○	○	○	6
	中間考査			○	○	○	1
	<律令国家の形成> ・律令に基づく国内統治体制について理解し、政治過程について考察する。 ・白鳳文化、天平文化における政治性と国際性に着目し、古代国家の展開を理解する。	1. 律令国家への道 2. 平城京の時代 3. 律令国家の文化 4. 律令国家の変容	隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。	○	○	○	13
期末考査			○	○	○	1	
2 学 期	<貴族政治の展開> ・摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ・大陸文化の消化と末法思想を前提とした貴族文化の展開を理解する。 ・地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程を理解する。	1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解している。	○	○	○	6
	<院政と武士の躍進> 院政期の政治、経済、社会、文化を理解する。 平氏政権の徳政について考察する。	1. 院政の始まり 2. 院政と平氏政権	貴族政治や土地制度の変容などをとらえ、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。	○	○	○	5
	中間考査			○	○	○	1
	<武家政権の成立> ・鎌倉幕府が全国的な武家政権に成長する過程を理解する。 ・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど文化の新しい気運が生まれたことに気づく。	1. 鎌倉幕府の成立 2. 武士の社会 3. モンゴル襲来と幕府の衰退 4. 鎌倉文化	諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。	○	○	○	13
期末考査			○	○	○	1	

3 学 期	<武家社会の成長> ・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえ、社会の変容を考察する。 ・地方権力の発展と各地に展開した都市の発展について理解する。	1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場	鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。経済の進展や各地の都市や村の発達、東アジアとの交流などに着目して、室町時代における多様な文化の形成や融合について理解している。	○	○	○	12
	<近世の幕開け> ・ヨーロッパ人の東アジア進出とそれらが日本の政治・文化に与えた影響について理解する。	1. 織豊政権 2. 桃山文化	村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。	○	○	○	5
	学年末考査			○	○	○	1
						合計	70

府中西 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 8組

教科担当者：（1～5組：宮原 俊夫）（6～8組：本城 恵太）

使用教科書：（公共007-902 公共新訂版 実教出版）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解できるようにする。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。	社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。	よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち	1. 生涯における青年期の意義 2. 自己形成の課題（1） 3. 自己形成の課題（2） 4. 職業生活と社会参加 5. 伝統・文化と私たち	・自らの体験などを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの立場を理解し高め合う社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れ、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解させる。・自分自身が、自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。	○	○	○	4
	第2章 人間としてよく生きる	1. 古代ギリシアの人間観 2. 科学と人間 3. 自由の実現 4. 社会を作る人間	・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であり、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解させる。・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。	○	○	○	4
	第3章 他者とともに生きる	1. 人間と幸福 2. 公正な社会をめざして	・現代の諸課題について自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解させる。・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○	2
	第4章 民主社会の倫理	1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務	・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。・人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○	2
	第5章 民主国家における基本原理	1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原則 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界の主な政治制度	・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。	○	○	○	6

2 学 期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本国憲法の成立</li> <li>2. 日本国憲法の基本的性格</li> <li>3. 自由に生きる権利</li> <li>4. 平等に生きる権利</li> <li>5. 社会権と参政権・請求権</li> <li>6. 新しい人権</li> <li>7. 人権の広がりとして公共の福祉</li> <li>8. 平和主義とわが国の安全</li> <li>9. こんにちの防衛問題</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法や規範の意義及び役割など現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。</li> <li>・我が国の安全保障と防衛に関わる現実社会の事柄や課題を基に、日本国憲法の平和主義について理解を深めるとともに、変化する国際情勢の中で、我が国の安全が世界の平和の維持と不可分に関連しているかについて理解させる。</li> <li>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。</li> </ul>	○	○	○	8
	第2章 日本の政治機構と政治参加	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 政治機構と国会</li> <li>2. 行政権と行政機能の拡大</li> <li>3. 公正な裁判の保障</li> <li>4. 地方自治と住民福祉</li> <li>5. 政党政治</li> <li>6. 選挙制度</li> <li>7. 世論と政治参加</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司法参加の意義など現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことを理解させる。</li> <li>・政治参加と公正な世論の形成、地方自治など現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立を調整して合意を形成することを通して築かれることについて理解させる。</li> </ul>	○	○	○	6
	第1章 現代の経済社会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済主体と経済活動の意義</li> <li>2. 経済社会の変容</li> <li>3. 市場のしくみ</li> <li>4. 市場の失敗</li> <li>5. 現代の企業</li> <li>6. 国民所得</li> <li>7. 経済成長と国民の福祉</li> <li>8. 金融の役割</li> <li>9. 日本銀行の役割</li> <li>10. 財政の役割と租税</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>11. 日本の財政の課題</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>9. 日本銀行の役割</li> <li>4. 市場の失敗</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</li> <li>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</li> </ul>	○	○	○	9
3 学 期	第2章 日本経済の特質と国民生活	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 戦後日本経済の成長と課題</li> <li>2. 転機に立つ日本経済</li> <li>3. 経済社会の変化と中小企業</li> <li>4. 農業と食料問題</li> <li>5. 消費者問題</li> <li>6. 公害の防止と環境保全</li> <li>7. 労働問題と労働者の権利</li> <li>8. 今日の労働問題</li> <li>9. 社会保障の役割</li> <li>10. 社会保障制度の課題</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化など基に、資源の効率的な配分が図られ、市場経済システムを機能させ、国民福祉の向上に寄与する役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を成り立たせることが必要であることを理解させる。</li> <li>・諸資料から、自立した主体として必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</li> </ul>	○	○	○	9
	第1章 国際政治の動向と課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際社会と国際法</li> <li>2. 国際連合と国際協力</li> <li>3. こんにちの国際政治</li> <li>4. 人種・民族問題</li> <li>5. 軍拡競争から軍縮へ</li> <li>6. 国際平和と日本の役割</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土や領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解させる。</li> <li>・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。</li> </ul>	○	○	○	5
	第2章 国際経済の動向と課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 貿易と国際収支</li> <li>2. 外国為替市場のしくみ</li> <li>3. 第二次世界大戦後の国際経済</li> <li>4. 地域的経済統合の進展</li> <li>5. 国際経済のつながりと課題</li> <li>6. 発展途上国の諸課題と日本の役割</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなど、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解させる。</li> <li>・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</li> </ul>	○	○	○	4

府中西 高等学校 令和8年度（2学年用）教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科：数学

科目：数学Ⅱ

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：尾崎 明 相馬 芳紀 梶 夏樹 鈴木 巧 石黒 拓磨 古橋 竜哉

使用教科書：（数研出版 新編 数学Ⅱ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、様々な事象を数学的に表現し処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を理論的に考察する力を身に付け、表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学的論拠に基づいて判断しようとする、また、問題を考察し評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について理論的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現し、表や式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 数と証明 第1節 式と計算 【知識及び技能】 様々な計算が出来る 【思考力、判断力、表現力等】 式を多面的にとらえ適切に変形できる 【学びに向かう力、人間性等】	・3次式の展開と因数分解 ・多項式の除法 ・分数式	【知識・技能】 正確に整式の処理が出来る 【思考・判断・表現】 問題に必要な式変形を考え、計算できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	12
第1章 数と証明 第2節 等式・不等式の証明 【知識及び技能】 証明の方法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 理論的に考察し、証明する 【学びに向かう力、人間性等】	・等式の証明 ・不等式の証明 ・相加相乗平均	【知識・技能】 正しい方法で証明ができる 【思考・判断・表現】 理論的に考察し、適切に証明ができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	3
第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 【知識及び技能】 複素数の四則演算ができる 【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式の解について判別できる 【学びに向かう力、人間性等】	・複素数の相等 ・複素数の四則演算 ・2次方程式の解 ・解と係数の関係	【知識・技能】 性格に計算ができる 【思考・判断・表現】 判別式を適切に利用することができる 解と係数の関係を利用し、問題が解ける 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	6
1学期 定期考査			○	○	○	1
第2章 複素数と方程式 第2節 高次方程式 【知識及び技能】 剰余の定理・因数定理 【思考力、判断力、表現力等】 因数定理を利用して高次方程式を解く 【学びに向かう力、人間性等】	・剰余の定理 ・因数定理 ・高次方程式	【知識・技能】 剰余の定理を用いて、余りを求めることができる 【思考・判断・表現】 因数定理を利用して高次方程式を解くことができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	8
第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 【知識及び技能】 内分点・外分点、直線・円の方程式 【思考・判断・表現力】 方程式を用いて図形の性質を考察する 【学びに向かう力、人間性等】	・内分点、外分点 ・直線の方程式 ・点と直線の距離 ・2直線の平行と垂直 ・円の方程式 ・3点を通る円の方程式	【知識・技能】 図形の表す方程式を正しく求めることができる 【思考・判断・表現】 図形の方程式を用いて図形の性質を考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	12
第3章 図形と方程式 第3節 軌跡と領域 【知識及び技能】 不等式の表す領域 【思考・判断・表現力】 軌跡の表す方程式 【学びに向かう力、人間性等】	・座標平面上の点の軌跡 ・線分の midpoint の軌跡 ・直線や円を境界線とする領域 ・連立不等式の表す領域	【知識・技能】 不等式の表す領域を理解し、表現できる 【思考・判断・表現】 軌跡の表す方程式を求めることができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	第4章 三角関数 第1節 三角関数 【知識及び技能】 三角関数のグラフの特徴、性質 【思考力、判断力、表現力等】 式とグラフの関係について考察する 【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般角 弧度法</li> <li>三角関数の相互関係</li> <li>三角関数を含む等式</li> <li>三角関数のグラフ</li> <li>三角方程式と不等式</li> </ul>	<p>【知識・技能】 グラフがかけ、方程式不等式がとける</p> <p>【思考・判断・表現】 三角関数の性質を理解し、考察、表現できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる</p>	○	○	○	8
	第4章 三角関数 第2節 加法定理 【知識及び技能】 加法定理 【思考力、判断力、表現力等】 加法定理を利用し、三角関数を合成する 【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>正弦の加法定理</li> <li>余弦の加法定理</li> <li>正接の加法定理</li> <li>三角関数の合成</li> </ul>	<p>【知識・技能】 加法定理を用いて、三角関数の値が求められる</p> <p>【思考・判断・表現】 三角関数を合成することができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 【知識及び技能】 指数の拡張、指数法則 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数のグラフ、方程式不等式 【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>累乗根</li> <li>有理数の指数</li> <li>指数関数のグラフ</li> <li>指数関数を含む方程式、不等式</li> </ul>	<p>【知識・技能】 指数を含む様々な計算ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 指数関数のグラフを理解している 方程式不等式を解くことができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる</p>	○	○	○	6
	第5章 指数関数と対数関数 第2節 対数関数 【知識及び技能】 対数、底の変換公式 【思考力、判断力、表現力等】 対数関数のグラフ、方程式不等式 【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>対数</li> <li>底の変換公式</li> <li>対数関数のグラフ</li> <li>対数関数を含む方程式、不等式</li> </ul>	<p>【知識・技能】 対数を含む様々な計算ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 対数関数のグラフを理解している 方程式不等式を解くことができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 【知識及び技能】 微分係数、導関数、極大・極小 【思考力、判断力、表現力等】 関数と導関数の関係について考察する 【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>微分係数、導関数</li> <li>極大、極小</li> <li>グラフの概形</li> </ul>	<p>【知識・技能】 導関数が求められる</p> <p>【思考・判断・表現】 3次関数のグラフをかくことができる 極大、極小について考察できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる</p>	○	○	○	12
	第6章 微分法と積分法 第3節 積分法 【知識及び技能】 不定積分、定積分 【思考力、判断力、表現力等】 定積分を利用して面積を求める 【学びに向かう力、人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>不定積分</li> <li>定積分</li> <li>面積</li> </ul>	<p>【知識・技能】 不定積分、定積分が求められる</p> <p>【思考・判断・表現】 積分を利用して面積を求めることができる 極大、極小について考察できる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							95

府中西 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科：数学

科目：数学B

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：尾崎 明 古橋 竜哉

使用教科書：（数研出版 新編 数学B ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、様々な事象を数学的に表現し処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を理論的に考察する力を身に付け、表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学的論拠に基づいて判断しようとする、また、問題を考察し評価・改善したりしようとする態度を身に付ける。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活とのかわりについての認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、問題解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列 【思考力、判断力、表現力等】 数列の規則性を数学的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】	・数列の一般項 ・等差数列とその和 ・等比数列とその和	【知識・技能】 数列の一般項や和を適切に求められる 【思考・判断・表現】 数列の規則性を見つけ、考察することができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○	1	
	第1章 数列 第2節 いろいろな数列 【知識及び技能】 $\Sigma$ 、階差数列 【思考力、判断力、表現力等】 数列の規則性を数学的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】	・自然数の2乗の和 ・ $\Sigma$ ・階差数列 ・群数列	【知識・技能】 $\Sigma$ を利用し、数列の和が計算できる 【思考・判断・表現】 階差数列を利用し数列の一般項を求められる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	10
定期考査		○	○	○	1		
2 学期	第1章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 漸化式から一般項を求める 【思考力、判断力、表現力等】 数学的帰納法を用いた証明 【学びに向かう力、人間性等】	・漸化式 ・数学的帰納法	【知識・技能】 漸化式から一般項が求められる 【思考・判断・表現】 等式や不等式の証明ができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○	1	
	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 【知識及び技能】 確率変数と確率分布 【思考力、判断力、表現力等】 平均、分散、標準偏差を用いた考察 【学びに向かう力、人間性等】	・確率変数 ・確率分布 ・確率変数の期待値 ・確率変数の分散と標準偏差	【知識・技能】 確率分布が求められる 【思考・判断・表現】 確率分布について多面的に考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	8
定期考査		○	○	○	1		
3 学期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 【知識及び技能】 二項分布、正規分布 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布の特徴の、様々な代表値を用いた考察 【学びに向かう力、人間性等】	・二項分布 ・正規分布	【知識・技能】 二項分布、正規分布に伴う確率変数の期待値と分散が求められる 【思考・判断・表現】 確率分布の特徴の、様々な代表値を用いて考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	8
	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 【知識及び技能】 標本調査、推定、仮説検定 【思考力、判断力、表現力等】 母集団の特徴や傾向を推測し判断する、調査の方法や結果を批判的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】	・標本調査 ・標本平均 ・推定 ・仮説検定	【知識・技能】 標本平均、母比率、標本比率、信頼度 【思考・判断・表現】 母集団の特徴や傾向を推測し判断し、調査の方法や結果を批判的に考察できる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度が見られる	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○	1	

合計
55

府中西 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科： 理科 科目： 物理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： (1.2.3.4.5組：小池 巨) (6.7.8組：増田 勲)

使用教科書：( 高等学校 改訂 新物理基礎 (第一学習社) )

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、化学的に探求しようとしている。

科目 物理基礎 の目標： 物質とその変化に関わり、観察・実験を通して、化学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	運動の表し方についての観察、実験などを通して、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、直線運動の加速度について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	運動の表し方 変位と速度 等速直線運動 合成速度と相対速度 直線運動の加速度 落体の運動	行動観察 発問評価 プリント提出 小テスト 定期考査	○		○	12	
	さまざまな力とそのはたらきについての観察、実験などを通して、さまざまな力、力のつり合い、運動の法則、物体の落下運動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	力とつり合い 運動の法則 さまざまな運動とはたらき	行動観察 発問評価 プリント提出 小テスト 定期考査	○	○	○	14	
2 学 期	力学的エネルギーについての観察、実験などを通して、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	仕事と仕事率 運動エネルギーと位置エネルギー 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギーが保存されない場合	行動観察 発問評価 プリント提出 小テスト 定期考査	○	○	○	8	
	熱についての観察、実験などを通して、熱と温度、熱の利用について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	温度と熱 熱の移動と保存 熱と仕事 熱効率と不可逆変化	行動観察 発問評価 プリント提出 小テスト 定期考査	○	○	○	8	
	波についての観察、実験などを通して、波の性質、音と振動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	波 波の重ね合わせ 定在波（定常波） 自由端や固定端での反射 音の性質 弦の固有振動 気柱の固有振動	行動観察 発問評価 プリント提出 小テスト 定期考査	○	○	○	12	
3 学 期	電気についての観察、実験などを通して、物質と電気抵抗、電気の利用について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	電流と電圧 電気抵抗 抵抗の接続 電気とエネルギー 直流と交流 電磁波	行動観察 発問評価 プリント提出 小テスト 定期考査	○	○	○	10	
	エネルギーとその利用について、物理学的な側面から理解させる。	エネルギーの変換と保存 原子核のエネルギー① 原子核のエネルギー② エネルギーの利用と課題	行動観察 発問評価 プリント提出 小テスト 定期考査	○	○	○	6	
							合計	70



# 府中西 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物入門

教科：理科 科目：生物入門 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組（阿部）

使用教科書：（高等学校 新課程 生物（第一学習社））

教科 理科 の目標：自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】自然の事物・現象について理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】現象を理解し、観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物入門 の目標：生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物を構成する主な物質は、水、タンパク質、脂質、炭水化物であることを理解する。</li> <li>水、タンパク質、脂質、炭水化物の特徴を理解する。</li> <li>界面活性剤を用いた実験の結果から、生体膜の構造を見い出して理解する。</li> <li>生体膜は、リン脂質二重層にさまざまなタンパク質がモザイク状に分布したものであることを理解する。</li> <li>真核細胞内の細胞骨格や構造体について理解する。</li> </ul>	生体物質と細胞 ①細胞を構成する物質 ②タンパク質の構造と性質 生命現象とタンパク質 ①酵素 実験4 カタラーゼの働き 実験5 外的条件がカタラーゼに与える影響について考えよう ②膜輸送タンパク質 ③受容体	授業態度、プリント、各種テスト	○	○	○	15
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミトコンドリアの構造を理解する。</li> <li>異化と呼吸の定義について理解する。</li> <li>呼吸の全体像を理解し、各物質の動きを推測する。</li> <li>呼吸の各課程と、酵素の働きについて考え、理解する。</li> <li>酵素による酸化還元反応について確認し、理解する。</li> <li>各生物と各呼吸器室の関係を理解し、実験データから推測する。</li> </ul>	異化 ①呼吸とミトコンドリア 資料9 呼吸におけるエネルギーの流れを考えよう 演習1 さまざまな生物の呼吸基質を推定してみよう ②発酵	授業態度、プリント、各種テスト	○	○	○	10
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>葉緑体の構造を理解する。</li> <li>植物の葉緑体に含まれる光合成色素の種類と色について理解する。</li> <li>緑葉に含まれる光合成色素を分離し、分離された色素の色とRf値から色素の種類を推測する。</li> <li>光合成の概要を示した資料にもとづいて、光合成の過程におけるエネルギーの流れを見い出して理解する。</li> <li>チラコイドで起こる反応の過程について理解する。</li> <li>カルビン回路の過程について理解する。</li> </ul>	炭酸同化 ①光合成と葉緑体 ②光合成の過程 資料8 植物の光合成におけるエネルギーの流れを考えよう	授業態度、プリント、各種テスト	○	○	○	10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAは、2本のヌクレオチド鎖が互いに逆向きに結合した構造をとることを理解する。</li> <li>DNA複製の際に働く各種酵素について理解する。</li> <li>DNA合成酵素が作用するためにはプライマーが必要であることを理解する。</li> <li>DNAの複製の際にはリーディング鎖とラギング鎖が生じることを理解する。</li> <li>半保存的複製を証明した実験手法とその結果の解釈について理解する。</li> </ul>	DNAの複製 ①DNAの構造と複製	授業態度、プリント、各種テスト	○	○	○	7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>真核細胞において転写が開始されるしくみについて理解する。</li> <li>RNAポリメラーゼの働きについて理解する。</li> <li>選択的スプライシングによって、1種類のmRNA前駆体から2種類以上のmRNAがつくられることを理解する。</li> <li>リボソームの構造と働きを理解する。</li> <li>原核生物における転写・翻訳の過程について理解する。</li> </ul>	遺伝子の発現 ①転写 ②翻訳	授業態度、プリント、各種テスト	○	○	○	8
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞ごとに、遺伝子発現のオンオフなど調節が働くことと、そのしくみを理解する。</li> <li>ヒトやウニについて、配偶子形成や受精のしくみを理解する。</li> <li>ショウジョウバエやカエルについて、受精卵から個体が発生するしくみを理解する。</li> <li>発生過程における多様性と共通性を理解する。</li> </ul>	遺伝子の発現調節 ①遺伝子の発現調節  発生と遺伝子の発現 ①動物の配偶子形成と受精 ②ショウジョウバエの発生における遺伝子の発現調節 ③カエルの発生における遺伝子の発現調節 ④発生過程における多様性と共通性	授業態度、プリント、各種テスト	○	○	○	20
							合計
							70

府中西 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組 男子

教科担当者：大澤・坂本

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館） ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	陸上競技 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につけることができるようにする。	50m走 ・タイムの向上を目指し走り方及びスタートダッシュについて練習する。 ハンドボール投げ ・ジャベリングなどを活用し、投げ方及び身体の使い方について学び記録の更新を目指す。 上体起こし、握力、立ち幅跳び、反復横跳び ・調べ学習、レポート提出を行う。	（知識・技能）陸上競技で用いられる技術の名称と、記録向上につながる動きのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きの習得に適した練習方法を選び、話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 （態度）危険を理解して安全に留意して実施し、勝敗を受け入れ、ルールやマナーを守って活動することができる。	○	○	○	9
	球技（バスケットボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作（パス、ドリブル） ・ゴールの枠内にコントロールするシュート練習 ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	9
	水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。	クロール・平泳ぎ ・水をとらえたプルとリズムカルなキックの練習 ・手を前に戻すリカバリーと抵抗の少ない足の引き付けとキック ・50～200m程度の距離を泳ぎながらのコンビネーション	（知識・技能）水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用・応用して練習したり、計画を立てることができる。 （態度）一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	10
2 学 期	球技（バレーボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 ・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返す ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	9
	球技（ハンドボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作（パス、ドリブル） ・ゴールの枠内にコントロールするシュート練習 ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）ハンドボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	9
	体育理論 スポーツの発祥と発展 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解できるようにする。	・スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境	（知識・技能）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 （思考・判断・表現）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 （態度）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について自主的に取り組むことができる。	○	○	○	6

3 学 期	陸上競技（長距離走） 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、長距離走の技能を身につけることができるようになる。	時間走と約3000mのタイムトライアル 自己に適したペース走の練習 目標タイムの設定とスピード走の練習と記録会	(知識・技能) 長距離走に必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることを理解できる。 (思考・判断・表現) これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 (態度) 自分の役割に主体的に取り組み、練習や競争、仲間との話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	15
							合計 67

府中西 高等学校 令和8年度（2学年用）教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組 女子

教科担当者：野口・都竹

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館））

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようになる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	陸上競技 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を身につけることができるようにする。	50m走 ・タイムの向上を目指し走り方及びスタートダッシュについて練習する。 ハンドボール投げ ・ジャベリングなどを活用し、投げ方及び身体の使用方について学び記録の更新を目指す。 上体起こし、握力、立ち幅跳び、反復横跳び ・調べ学習、レポート提出を行う。	（知識・技能）陸上競技で用いられる技術の名称と、記録向上につながる動きのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きの習得に適した練習方法を選び、話し合い、自分の考えを仲間に伝えることで皆が納得することができる。 （態度）危険を理解して安全に留意して実施し、勝敗を受け入れ、ルールやマナーを守って活動することができる。	○	○	○	9
	球技（バレーボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。 ・ボールを相手側のコートに空いた場所やねらった場所に打ち返す ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）バレーボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	9
	水泳 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。	クロール・平泳ぎ ・水をとらえたブルとリズムカルなキックの練習 ・手を前に戻すリカバリーと抵抗の少ない足の引き付けとキック ・50～200m程度の距離を泳ぎながらのコンビネーション	（知識・技能）水泳の各種目で用いられる技術の名称と効率的に泳ぐためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）動きを比較して課題を見つけ、知識や技能を活用・応用して練習したり、計画を立てることができる。 （態度）一人ひとりの課題や挑戦を認め、仲間を称え助言することで信頼関係を深め、互いに高め合うことができる。	○	○	○	10
2 学 期	球技（バスケットボール） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・安定したボール操作や状況に応じたボール操作（パス、ドリブル） ・ゴールの枠内にコントロールするシュート練習 ・チームの作戦に応じたゲーム練習	（知識・技能）バスケットボールの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができる。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができる。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	9
	球技（ラグビー） 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようにする。	・基本動作であるパス/キャッチ/レシーブ/サイドステップの技術の体得 ・チームメイトと協力して動きながらパス等を継続して前進していく ・スペースを作り、カットイン、カットアウトなどの戦術に取り組む。	（知識・技能）ラグビーの技術や戦術、作戦の名称とそれらを身につけるためのポイントを理解することができた。 （思考・判断・表現）体力や技能、性別等の違いに配慮して、仲間とともに楽しむための練習やゲームを工夫することができた。 （態度）分担した役割に主体的に取り組み、練習やゲーム、チームの話し合いに積極的に参加することができた。	○	○	○	9
	体育理論 スポーツの発祥と発展 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解できるようにする。	・スポーツの始まりと変遷・文化としてのスポーツ・オリンピックとパラリンピックの意義・スポーツが経済に及ぼす効果・スポーツの高潔さとドーピング・スポーツと環境	（知識・技能）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できる。 （思考・判断・表現）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができる。 （態度）スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について自主的に取り組むことができる。	○	○	○	6

3 学 期	陸上競技（長距離走） 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、長距離走の技能を身につけることができるようになる。	時間走と約3000mのタイムトライアル 自己に適したペース走の練習 目標タイムの設定とスピード走の練習と記録会	(知識・技能) 長距離走に必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることを理解できる。 (思考・判断・表現) これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な練習方法を選択し、練習計画を立てることができる。 (態度) 自分の役割に主体的に取り組み、練習や競争、仲間との話し合いに積極的に参加することができる。	○	○	○	15
							67

府中西 高等学校 令和8年度（2学年用）教科 保健体育 科目 保健

教科： 保健体育 科目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1,3,8組：都竹）（2,4,6組：野口）（5,7組：大澤）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	3単元 生涯を通じる健康 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できるようにする。その際、これらの変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であることを理解できるようにする。	01 ライフステージと健康 02 思春期と健康 03 性意識と性行動の選択	・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。	04 妊娠・出産と健康 05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚生活と健康	・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。	○	○	○	5
	中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、地域における交流をもつことなどが関係することを理解できるようにする。	07 中高年と健康	・高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には個人差があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	2
定期考査				○	○		1

2 学 期	労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が増えたり減ったりすることを理解できるようにする。また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解できるようにする。	08 働くことと健康 09 労働災害と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が増えたり減ったりすることを理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。</li> <li>労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	3
	働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする。	10 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。</li> </ul>	○	○	○	2
	4単元 健康を支える環境づくり 人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解できるようにする。	01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> </ul>	○	○	○	2
	健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて理解できるようにする。	03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	3
	食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解できるようにする。	05 食品の安全性 06 食品衛生にかかわる活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。</li> </ul>	○	○	○	2
定期考査			○	○		1	
3 学 期	我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解できるようにする。	07 保健サービスとその活用 08 医療サービスとその活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul>	○	○	○	3
	医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて理解できるようにする。	09 医薬品の制度とその活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品は、医療用医薬品、要指導医薬品、一般用医薬品の三つに大別され、承認制度によってその有効性や安全性が審査されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> </ul>	○	○	○	2
	我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解できるようにする。	10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</li> <li>様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	3
定期考査			○	○		1	
合計							35

府中西 高等学校 令和8年度(2学年用) 教科

芸術 科目 音楽Ⅱ

教科: 芸術

科目: 音楽Ⅱ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組~8組

教科担当者: (1~4組: 関口奈々 5~8組: 横井明子)

使用教科書: (「高校生の音楽2」教育芸術社 )

使用教材: ( 自校作成プリント他 )

単元の目標:

- 【知識及び技能】 芸術に関する科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 想像的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

単元名: ( )

単元の評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

実施予定: 4 月 2 週 ~

	具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)								
							1 5 4 組	5 5 8 組							
1 学 期	<p>歌唱</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解し、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p> <p>器楽</p> <p>【知識及び技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表現を創意工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p>	<p>歌唱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発声法</li> <li>・読譜</li> <li>・表現の工夫</li> </ul> <p>①糸 他</p>	<p>器楽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奏法の基本</li> <li>・読譜</li> <li>・表現の工夫</li> </ul> <p>①Ave Maria 他</p>	○	○	○	観察	4/10	4/13						
				○	○	○	観察	4/17	4/20						
				○	○	○	観察 発表演奏	4/24	4/27						
				○	○	○	観察 発表演奏	5/1	5/11						
				○	○	○	観察 発表演奏	5/15	5/18						
				○	○	○	観察 発表演奏	5/29	5/25						
				○	○	○	観察 発表演奏	6/12	6/1						
				○	○	○	観察 実技テスト	6/19	6/8						
				○	○	○	観察 実技テスト	6/26	6/15						
				○	○	○	観察 発表演奏	6/29							
○	○	○	観察 発表演奏	7/13											

2 学 期	第 2 2 3 時 ・	歌唱 【知識及び技能】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴 を理解し、他者との調和を意識して歌 う技能を身に付ける。	歌唱 ・発声法 ・読譜 ・表現の工夫 ・アンサンブル の基本	器楽 ・奏法の基本 ・読譜 ・表現の工夫 ・アンサンブルの基 本	○	○	○	観察 発表演奏	9/4	9/5						
	第 2 6 5 時 ・	【思考力、判断力、表現力等】 歌唱に関わる知識や技能を得たり生か したりしながら、自己のイメージをも って歌唱表現を創意工夫ができる。			○	○	○	観察 発表演奏	9/18	9/7						
	第 2 8 7 時 ・	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現移動に取り組む。			○	○	○	観察 発表演奏	9/25	9/28						
	第 3 0 9 時 ・	器楽 【知識及び技能】 様々な表現形態による器楽表現の特徴 を知り、他者との調和を意識して演奏 する技能を身に付ける。			○	○	○	観察 実技テスト	10/2	10/5						
	第 3 2 1 時 ・	【思考力、判断力、表現力等】 器楽表現に関わる知識や技能を得たり 生かしたりしながら、自己のイメージ をもって器楽表現を創意工夫すること ができる。			○	○	○	観察 実技テスト	10/16	10/26						
	第 3 3 5 時 ・	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。			○	○	○	観察 発表演奏	10/30	10/24						
	第 3 8 7 時 ・				○	○	○	観察 発表演奏	11/6	11/2						
	第 4 3 9 時 ・				○	○	○	観察 発表演奏	11/13	11/9						
	第 4 2 1 時 ・				○	○	○	観察 意見発表	11/20	11/16						
	第 4 4 3 時 ・				○	○	○	観察 発表演奏	11/27	11/30						
	第 4 4 5 時 ・				○	○	○	観察 意見発表	12/11	12/7						
	第 4 8 7 時 ・				○	○	○	観察 実技テスト		12/14						
3 学 期	第 5 4 0 時 ・	創作 【知識及び技能】 音階や音型などの特徴及び構成上の特徴につ いて、表したいイメージと関わらせて理解し、反 復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつ くる技能を身に付ける。	創作 ・旋律づくりの ルールを理解し て行う。 ①カノンの和声 進行による旋律 づくり	鑑賞 ・楽曲の構成を理解 して聴く。 ①ボレロ	○	○	○	観察 意見発表	1/22	2/1						
	第 5 5 2 1 時 ・	【思考力、判断力、表現力等】 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かした りしながら、自己のイメージをもって創作表現 を創意工夫する。			○	○	○	観察 発表演奏	1/29	2/8						
	第 5 5 4 3 時 ・	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。			○	○	○	観察 意見発表	2/5	2/15						
	第 5 5 6 5 時 ・	鑑賞 【思考力、判断力、表現力等】 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりなが ら、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。			○	○	○	観察 発表演奏	2/12	3/8						
	第 5 5 8 7 時 ・	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に音楽作品を味わう。			○	○	○	観察 意見発表	2/26	3/15						
	第 6 0 9 時 ・				○	○	○	観察 発表演奏	3/12							

府中西 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術 科目：美術Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 選択

教科担当者：（選択：町田 法生）

使用教科書：（「高校生の美術2」光村図書出版）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】想像的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映 画					
A 単元：リネーション、鑑賞、素描 【知識及び技能】 鉛筆による明暗表現の理解。 【思考力、判断力、表現力等】 素描を行う上で必要な基礎的な事項について理解し、遠近法を用いて表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明度の段階が感覚で覚えらる。計画性をもって、丁寧に制作に取り組む	・指導事項：鑑賞、素描基礎 パースペクティブについての理解 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】 鉛筆による明暗表現の違いが理解できる。 【思考・判断・表現】 光の方向と、調子の流れを認識し、遠近法を用いて表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明暗表現にタッチの表現を組み合わせることができる。	○	○	○	4
A 単元：素描 【知識及び技能】 素描制作における構図についての理解をスケッチを通して考える。 【思考力、判断力、表現力等】 鉛筆の使い方の工夫について、様々なタッチによる表現を試す。 【学びに向かう力、人間性等】 明度の段階が感覚で覚えらる。計画性をもって、丁寧に制作に取り組む	・指導事項：鑑賞、素描基礎 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】 対象物の捉え方、構図について理解し、スケッチから本画へ取り組むことができる。 【思考・判断・表現】 素描を行う上で必要な基礎的な事項について理解し、立体的な表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 鉛筆の使い方の工夫について、様々なタッチによる表現を試すことができる。	○	○	○	10
A 単元：色彩構成 【知識及び技能】 アクリルガッシュの特徴を理解し、適切な着彩方法ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 色相、明度、彩度の違いを意識し表現方法を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって、丁寧に制作に取り組む。	・指導事項：色彩構成 色相、明度、彩度についての理解 アクリルガッシュの基本技法 ・教材：教科書、自校作成プリント	○			【知識・技能】 色彩表現の基礎としての理解ができ、アクリルガッシュを適切に使用できる。 【思考・判断・表現】 色相、明度、彩度の違いを意識し、アクリルガッシュの混色表現を組み合わせて試すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。	○	○	○	10

2 学 期	<p>A 単元：色彩構成</p> <p>【知識及び技能】 アクリルガッシュの特徴を理解し、適切な着彩方法ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 色相、明度、彩度の違いを意識し表現方法を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって、丁寧に制作に取り組む。</p>	<p>・指導事項：色彩構成 色相、明度、彩度についての理解 画面構成と配色計画</p> <p>・教材：教科書、自校作成プリント</p>	○			<p>【知識・技能】 色彩表現の基礎としての理解ができ、アクリルガッシュを適切に使用できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 色相、明度、彩度の違いを意識し、アクリルガッシュの混色表現を組み合わせて試すことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。</p>	○	○	○	4
	<p>A 単元：デザイン</p> <p>【知識及び技能】 日常生活でのデザインの役割を把握する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 グラフィックデザインについての理解。画面構成、レイアウトの考察。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって、丁寧に制作に取り組む。</p>	<p>・指導事項：デザイン イメージ構成 抽象形を用いたデザイン</p> <p>・教材：教科書、自校作成プリント</p>	○	○		<p>【知識・技能】 色彩表現の基礎としての理解ができ、アクリルガッシュを適切に使用できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 色相、明度、彩度の違いを意識し、アクリルガッシュの混色表現を組み合わせて試すことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。</p>	○	○	○	20
3 学 期	<p>A 単元：絵画</p> <p>【知識及び技能】 自然の造形物の特徴を観察し構成・表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの形態の違いを意識し表現方法を工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現活動に取り組む。</p>	<p>・指導事項：絵画</p> <p>・教材：教科書、自校作成プリント</p>	○			<p>【知識・技能】 絵画表現の基礎としての明暗表現ができ、調子の流れを見つけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 2階調化の表現方法を工夫することができ、全体のバランスを調節し、細部にこだわり丁寧に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 対象を深く観察し、新鮮な発見や感動を引き出すことができた。</p>	○	○	○	8
	<p>A 単元：デザイン</p> <p>【知識及び技能】 日常生活でのデザインの役割を把握する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 色彩についての理解。色相、明度、彩度をもとに配色の工夫をする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 色彩の調和、対比を考えて配色計画をする。</p>	<p>・指導事項：デザイン</p> <p>・教材：教科書、自校作成プリント</p>	○	○		<p>【知識・技能】 テーマを明確に伝えられるような構図・配色ができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】 色相、明度、彩度をもとに配色の工夫をすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 色彩の調和、対比を考えて配色計画をすることができる。</p>	○	○	○	8
										合計
										64

府中西 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 外国語 科目

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1 組： 田口）（2 組： 津田）（3 組： 田口）（4 組： 立花）（5 組： 津田）（6 組： 立花）（7 組： 津田）（8 組： 田口）

使用教科書：（Power On English Communication Ⅱ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】英語の発音や語彙、表現・文法・言語の働きなどの理解を深め、適切に活用する技能をつける。

【思考力、判断力、表現力等】目的や場面に応じて適切な方法でコミュニケーションをとることができる。

【学びに向かう力、人間性等】英語の背景にある文化を理解し、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語い、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付ける。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	[題材内容] ストリートピアノについてのテレビレポート [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson1 Play me, I'm Yours [言語材料] 助動詞+動詞の原形、受け身、S+V (be動詞以外) [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)				10
	[題材内容] 現代のファッション業界についてのニュース記事 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson2 Ethical Fashion [言語材料] S+V+O+C(形容詞)、S+V(使役)+O+C(原形不定詞)、S+V(知覚)+O+C(現在分詞、原形不定詞) [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)				10
	中間考査					1
	[題材内容] ラグビー選手のリーチマikel選手へのインタビュー [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson3 One for All, All for One [言語材料] 現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif節 [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)				10
2 学 期	[題材内容] 日本の自動販売機、海外の自動販売機についてのオンライン記事 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson4 Vending Machines [言語材料] 関係代名詞(主格)、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞(目的格) [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)				10
	期末考査					1
	[題材内容] ユニバーサルデザイン、新紙幣とキャッシュレス化についてのオンライン記事 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson5 Design for Connecting Society: Braille Neue Lesson6 New Banknotes [言語材料] 助動詞+受け身、S+V+C(分詞)、S+V+O(if節)、形式目的語itとthat節 等 [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)				18
	[題材内容] 色を与える影響と心理的効果、小田兼利博士が開発した納豆パウダーの論説文 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する	Lesson7 Some Secrets about Colors Lesson8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem [言語材料] 関係代名詞(所有格)、同格の接続詞、強調構文 等 [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)				20

3 学 期	<p>[題材内容] アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシーコールマンの伝記 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する</p>	<p>Lesson9 Flying after Her Dreams [言語材料] 譲歩を表す副詞節、no matter how, 仮定法過去完了、分詞構文 [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)</p>	<p>【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング・リスニングの力をはかり、表現については主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況をみる。</p>	○	○	○	10	
	<p>[題材内容] 日本が誇るロボットやロボットの労働などについての論説文 [言語の働き] 説明す恵右、報告する、紹介する、発表する</p>	<p>Lesson10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots [言語材料] 過去完了進行形、be+to不定詞、未来完了形、insistなど+that+S+V(動詞の原形) [その他副教材]・Focus on Listening Basic・速読英単語(入門編・必修編)</p>	<p>【知識・技能】主に考查により、知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】思考・判断については主にリーディング・リスニングの力をはかり、表現については主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】考查問題中の語彙に関する問題、提出物の提出状況や単語テスト等の点数の伸長状況をみる。</p>	○	○	○	11	
							合計	101

府中西 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：宮澤・津田）（2組：塚原・立花）（3組：塚原・立花）（4組：宮澤・塚原）（5組：宮澤・立花）（6組：浅中・津田）（7組：宮澤・立花）（8組：塚原・立花）

使用教科書：（Vision Quest English Logic & Expression I Standard / Vision Quest English Logic & Expression II Hope）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解する。目的や場面、状況に応じて自分の意見や主張などを論理や展開を工夫して詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】目標や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、話すことや書くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手などを他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとする。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・英語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する。 ・英語の技能（話すこと・書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	・場面、目的、状況等に応じて、日常的、社会的な話題について、情報や考えなどを英語で的確に理解したり適切に伝えることができる。 ・自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手などを他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・パーティー会場における会話や自分の感情についての表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 7 I'm happy to have you with us. [文法事項] 不定詞	【知識・技能】主に考查により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていることをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
	・スポーツをしている時の会話や健康に関する表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 8 What sport do you like playing? [文法事項] 動名詞	【知識・技能】主に考查により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていることをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
	・スポーツをしている時の会話や健康に関する表現を学ぶ。 ・メディアを通じたコミュニケーションや情報を加えて詳しく表現する方法を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 8 What sport do you like playing? lesson 9 ① Digital media has come a long way. [文法事項] 動名詞 分詞	【知識・技能】主に考查により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていることをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
	・異文化紹介における表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 10 That's why I decided to go back. [文法事項] 関係詞	【知識・技能】主に考查により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていることをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
2 学 期	・国際問題（フェアトレード）における表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 11 Which do you prefer cheaper beans or more expensive ones? [文法事項] 比較	【知識・技能】主に考查により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていることをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8
	・異文化紹介における表現を学ぶ。 ・この単元の重要文法事項についての理解を深める。 ・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。 ・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。	Lesson 12 I think it's a good idea. [文法事項] 仮定法	【知識・技能】主に考查により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていることをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。	○	○	○	8

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の目標や学校生活における表現を学ぶ。</li> <li>・この単元の重要文法事項についての理解を深める。</li> <li>・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。</li> <li>・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。</li> </ul>	<p>Lesson 1 What is your future goal? Lesson2 What school events do you have?</p>	<p>【知識・技能】主に考査により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていることをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。</p>	○	○	○	8	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツや情報化時代における表現を学ぶ。</li> <li>・この単元の重要文法事項についての理解を深める。</li> <li>・相手の発話に対して適切な応答をすることができるようになる。</li> <li>・多様な表現を用いて、ライティングやスピーキングにより、自らを表現することができるようになる。</li> </ul>	<p>Lesson 3 Who is the best athlete? Lesson4 Is social media safe?</p>	<p>【知識・技能】主に考査により知識・技能の定着度をみる。 【思考・判断・表現】自分が伝えていることをまとめて適切に表現することができるかについて主にライティング、スピーキングの力をはかることにより評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】会話やプレゼンテーションなどにおける積極性や提出物の提出状況などをみる。</p>	○	○	○	8	
							合計	64



府中西 高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科: 家庭 科目: 家庭基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1組～ 8組

教科担当者: (1～8組 a: 池田) (1～8組 b: 滝本)

使用教科書: (新家庭基礎 (実教出版))

教科 家庭 の目標: 自立する力を身につけ、生涯を見通して生活の中の課題を解決する力を身につけ、よりよい人生を送れるようにする。

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。	第1章 生涯を見通す 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	2
	・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 ・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。 ・社会制度としての家族や家族と法律を理解する。	第2章 人生をつくる 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	4
	・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 ・社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について理解する。 ・子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。	第3章 子どもと共に育つ 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 5 これからの保育環境	・乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 ・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	6
	・被服製作実習を通して、手縫いやミシンの使い方の技術を習得する。	第7章 衣生活をつくる 被服実習	・被服の計画・管理・製作に必要な技能を身に付けている。	○	○	○	6
2 学 期	・人はなぜ衣服を着るのか理解する。 ・衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。 ・だれもが快適な衣生活を送るための要因を理解する。	第7章 衣生活をつくる 1被服の役割を考える 2被服を入手する 3被服を管理する	・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・被服材料について理解している。 ・被服構成について理解している。 ・被服衛生について理解している。	○	○	○	6
	・自身の食生活の現状把握と今後の課題を理解する。 ・健康で豊かな食生活をはぐくむための気づきや工夫を理解する。 ・自分の食生活の計画と管理ができるようになる。 ・衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。	第6章 食生活をつくる 1食生活の課題について考える 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎 7これからの食生活	・食品の栄養的特質について理解している。 ・食品の調理上の性質について理解している。 ・自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	14
	・住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどうかかわっているか理解する。 ・住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。	第8章 住生活をつくる 1住生活の変遷と住居の機能 3これからの住生活	・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解している。 ・住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	8



